

船舶事故調査報告書

平成28年6月9日



運輸安全委員会（海事専門部会）議決

委員 庄 司 邦 昭（部会長）

委員 小須田 敏

委員 根 本 美 奈

事故種類	乗組員死亡
発生日時	不明（平成27年10月18日 06時50分ごろ～09時45分ごろの間）
発生場所	長崎県南島原市布津漁港山ノ下地区 布津港湯田地区沖防波堤灯台から真方位221° 810m付近 （概位 北緯32° 41.0′ 東経130° 21.3′）
事故の概要	漁船昭新丸は、はえ縄の巻揚げ作業中、船長が漁具巻揚げ用ローラに巻き込まれて死亡した。
事故調査の経過	平成27年10月19日、本事故の調査を担当する主管調査官（長崎事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者としての船長からの意見聴取は、本人が本事故で死亡したため、行わなかった。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	漁船 昭新丸、4.85トン KM3-29308（漁船登録番号）、個人所有 12.24m (Lr) × 2.29m × 0.79m、FRP ディーゼル機関、漁船法馬力数50、昭和55年6月8日
乗組員等に関する情報	船長 男性 75歳 一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定 免許登録日 昭和50年7月25日 免許証交付日 平成26年11月25日 （平成32年10月17日まで有効）
死傷者等	死亡 1人（船長）
損傷	なし
気象・海象	気象：天気 晴れ、風 なし 海象：海上 平穏
事故の経過	本船は、船長が1人で乗り組み、ひらめはえ縄漁を行うため、平成27年10月18日06時50分ごろ熊本県上天草市串漁港を出港した。 布津漁港山ノ下地区の防波堤上で作業をしていた漁業者は、本船が南東方沖から同防波堤に向かって航行し、09時45分ごろ同防波堤付近の浅所に乗り揚げたところを目撃したので、船内を確認したとこ

	<p>ろ、右舷船尾側の甲板の上に設置された漁具巻揚げ用ローラ（以下「本件ローラ」という。）に左腕を巻き込まれた状態の船長を発見した。</p> <p>布津漁港内にいた別の漁業者は、本船及び船長の状況を知り、119番通報を行った。</p> <p>船長は、搬送先の病院で、外傷により血気胸を発症したことによる低酸素血症による死亡と検案された。</p> <p>（付図1 事故発生場所概略図 参照）</p>
<p>その他の事項</p>	<p>船長は、本件ローラで巻き揚げられたはえ縄のワイヤと本件ローラの間で左腕を巻き込まれ、船尾方に向いた体勢で発見された。（写真1、写真2参照）</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="547 654 1034 896">  <p style="text-align: center;">写真1 本船</p> </div> <div data-bbox="1043 654 1439 1211">  <p style="text-align: center;">写真2 本件ローラ</p> </div> </div> <p>本船は、機関が前進にかかっており、本件ローラから船尾方の海中にはえ縄が出ていた状態であった。</p> <p>本船のはえ縄の巻揚げ作業は、機関を前進にかけ、船長が本件ローラの船首側に立ち、船尾方に向いた姿勢で本件ローラを使用して行っていた。</p>
<p>分析</p> <p>乗組員等の関与</p> <p>船体・機関等の関与</p> <p>気象・海象等の関与</p> <p>判明した事項の解析</p>	<p>不明</p> <p>不明</p> <p>不明</p> <p>船長の死因は、低酸素血症であった。</p> <p>本船は、船長が1人で乗り組み、06時50分ごろ串漁港を出港した後、09時45分ごろ布津漁港山ノ下地区の防波堤付近の浅所に乗り揚げ、船長が本件ローラに左腕を巻き込まれた状態で発見されたことから、この間において、船長が本件ローラに巻き込まれて死亡したものと考えられるが、死亡に至った状況を明らかにすることはできなかった。</p>

	<p>本船は、機関が前進にかかっており、本件ローラから船尾方の海中にはえ縄が出ていたこと、及び船長が船尾方に向いた体勢で巻き込まれていたことから、はえ縄の巻揚げ作業中であったものと考えられる。</p>
原因	<p>本事故は、本船が、はえ縄の巻揚げ作業中、船長が本件ローラに巻き込まれたことにより発生したものと考えられる。</p>

付図1 事故発生場所概略図

